

## 令和元年度 豊橋市バイオマス利活用センターモニタリング結果

(1/2)

施設名	豊橋市バイオマス利活用センター
所在地	豊橋市神野新田町字中島75-2
特別目的会社	株式会社 豊橋バイオウィル
事業期間	平成29年10月1日～平成49年（令和19年）9月30日
担当課（連絡先）	上下水道局 下水道施設課（0532-46-2854）
平成30年度サービス購入費（決算）	243,549千円
令和元年度サービス購入費（決算見込）	255,294千円

項目	内 容		結果
	業務内容	要求水準項目	
維持管理・運営計画等の策定業務	業務仕様書	■要求水準書及び維持管理・運営業務に関する技術提案に基づいた内容 ■当該年度開始の30日前までに提出 ■業務内容、業務区分ごとの実施回数、業務提供時間帯等の記載の有無	適合
	維持管理・運営業務年間計画書	■業務ごとの作成 ■当該年度開始の30日前までに提出	適合
	修繕計画書の作成	■長期修繕計画書、年度修繕計画書の作成 ■引渡日の60日前までに提出 [長期修繕計画書] ■当該年度開始の30日前までに提出 [年度修繕計画書]	適合
	業務担当者の配置等	■維持管理・運営業務総括責任者の配置・届出 ■業務責任者の配置・届出 ■業務の円滑な実施の調整等	適合
維持管理業務	点検・保守業務	■本施設等を効率的運転するための適切な日常点検 ■日常点検に加え必要な定期点検 ■点検等によって検知された異常に対しての調整、部品交換等 ■点検・保守、事故・故障の内容等の毎月の報告	適合
	修繕・更新業務	■本施設等を適切に運転するための設備等の修繕・更新 ■修繕内容の記録・報告	適合
運営業務	バイオマスの受入管理・処理業務	■運搬車の受付、汚泥・生ごみ等の受入量の計量 ■バイオマス含水率の計測 ■バイオマス利活用のための処理 ■プラント運転操作監視 ■汚泥脱水設備の運転管理 ■発酵不適物等の資源化センターへの運搬 ■料金徴収システムに基づく料金徴収の代行	適合
	バイオガス利活用業務	■高効率ガス発電設備による発電・売却	適合
	試験業務	■バイオマスの性状 ■返流水の水質 ■排気ガス ■騒音・振動、悪臭	適合
	報告業務	■日報の作成：運転、点検データ等の整理 ■月報：日報を基に作成 ■年報：月報を基に作成 ■四半期報告書：サービス購入費の支払のために必要なデータ整理	適合
	ユーティリティ等の調達・管理業務	■薬品 ■電気・燃料 ■上下水道 ■備品・消耗品等	適合

項目	内 容		結果
	業務内容	要求水準項目	
その他関連業務	清掃業務	本施設等の機能・作業環境を良好に保つための清掃	適合
	警備業務	本施設等を適切に維持管理するための警備・防犯	適合
	外構維持管理業務	フェンス、門、搬入道路、照明、案内板、植栽等の維持管理	適合
	危機管理対応業務	地震、火災、大雨等の危機管理事象への対応	適合
	本施設等のPR業務	本施設等を紹介するパンフレットの作成、見学者対応	適合
	地域住民対応業務	周辺住民からの苦情、要望等が寄せられた場合の対応・報告	適合
	調査・研究のための協力業務	下水道施設維持管理の調査・研究のためのデータの整理・協力	適合

PFI事業を営む特別目的会社の自己評価	<p>維持管理・運営業務は要求水準書、事業契約書及び技術提案書に基づき円滑に事業を実施した。施設運転においては各バイオマスの受入を停止することなく処理を継続し、発電及び炭化燃料生産を行った。ガスエンジン発電機においては突発故障や定期整備期間の延長等で計画外の停止を余儀なくされることもあったが、発電原単位としては安定しており、健全な事業運営に大きく寄与している。</p> <p>維持管理においては、炭化設備等での不具合事象に対する原因の追究と積極的な改良を行うことで早期改善を図った。ガスエンジン発電機及び炭化設備では、予防保全の実施により安定運転の継続に努めた。</p> <p>受入物への異物の混入に対しては市と迅速な情報共有を行い、搬入業者には収集時の注意を促すなど異物混入を低減させるための積極的な取り組みを実施した。</p> <p>本事業のPR業務においては、率先して施設案内に携わり、豊橋市環境行政の最先端たる施設として多くの見学者を受け入れた。</p> <p>今後も限りあるバイオマス資源を有効活用するとともに、効率的かつ安定した管理・運営に努めていく。</p>
---------------------	---

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理・運営業務は、要求水準書、事業契約書及び技術提案書等に基づき、適切に行われていることを確認した。</li> <li>・令和元年度の1年間で、74団体、1,486名（行政関係404名、一般1,082名）の見学者を受け入れた。見学時の施設説明は明解であり、対応も良好であった。夏休み子ども見学会の際は、対象小学生が理解しやすいよう工夫した展示も見られた。</li> <li>・受け入れた生ごみに異物の混入（空き缶、レンガ、毛皮等多数）が認められた。運転員により、設備投入前で排除できたものもあるが、排除できない場合、設備損傷の原因につながるため、関係機関との連絡調整の上、異物混入防止に努める必要がある。また、今後も引き続き市民の生ごみ分別の協力が必要である。</li> </ul>
------	---